

立命館大学大阪いばらきキャンパス (OIC)・地域情報研究所開設記念シンポジウム
JAHES・JASAG・JBA-3学協会合同学術大会・総会・共同開催

地球環境変動と地域社会の連携とコミットメント

～コンセンサス形成のための地域の相互学習から Future Earth 実現へ向けて～

主 催： 立命館大学 OIC 総合研究機構 地域情報研究所
共同開催： 日本環境共生学会，日本バイオ炭普及会，日本シミュレーション&ゲーミング学会
後援(交渉中)： 土木学会，木質炭化学会，立命館大学政策科学会，茨木市，亀岡市，茨木商工会議所
日 時： 平成 27 年 5 月 30 日 (土)
参加費： 無料 (研究交流会のみ 3 千円)

★参加申込：下記フォームからお願いいたします。

https://docs.google.com/forms/d/1fa8LJjIENpPVjLc21BRYQCf8wb0a6r_zTrPpRw5wcQ4/viewform

プログラム (シンポジウムは日本語で開催されます。)

時間	日本環境共生学会 JAHES	日本シミュレーション &ゲーミング学会 JASAG	日本バイオ炭普及会 JBA
10:15-	レジストレーション (B棟1階ホール)		
10:30-11:15	キャンパス・ツアー (希望者のみ、B棟1階ホール・スターバックス隣) 「大阪いばらきキャンパスの地域・社会連携コンセプトと市民参画」		
11:15-13:00	ポスター発表セッション(～12時) ポスター対話セッション(～13時) (B棟2階R-AGORA) 理 事 会(12時～) (B棟2階B276ラーニングスタジオ)	理 事 会 (B棟2階B275ラーニングスタジオ)	理 事 会(11時半～) (B棟4階第1研究会室/1階カンファレンスホール) 総 会(12時～) (B棟1階カンファレンスホール)
13:00-13:50	総 会・表彰式 (B棟2階グランドホール)	総 会・ISAGA/JASAG2015 案内 (B棟2階B275ラーニングスタジオ)	セミナー (B棟1階カンファレンスホール)
14:00-14:10	開 会 ご 挨拶 (B棟2階グランドホール)		
14:10-15:00	基 調 講 演 (B棟2階グランドホール)		
15:10-17:00	パネルディスカッション (B棟2階グランドホール)		
17:10-19:30	研究交流会 (3学協会・地域情報研究所合同、B棟5階産学連携ラウンジ)		

立命館大学 OIC の B 棟は「立命館いばらきフューチャープラザ」です。昼食については各学協会からのご案内をご覧ください。

- 基調講演： 広瀬幸雄 関西大学社会安全学部教授・博士 (心理学)
「EUにおける環境関連計画での参加と合意形成の動向」[スライド投影有]
- セミナー 沖森泰行 日本バイオ炭普及会・株式会社 環境総合テクノス・博士 (農学)
「東南アジアにおけるバイオマスの活用とバイオチャー」[スライド投影有]
- パネルディスカッション [パネリストによるスライド投影有]：
「コンセンサス形成のための地域の相互学習と Future Earth」

パネリスト： 杉浦 淳吉 慶應義塾大学・教授・博士 (心理学)
パネリスト： Steven McGreevy 総合地球環境学研究所・特任助教・博士 (農学)
パネリスト： 中村晋一郎 名古屋大学・専任講師・博士 (工学)
コーディネーター： 松原 克志 常磐大学国際学部長・教授・博士 (学術)

主催者代表： 宮脇 昇 立命館大学・地域情報研究所長・教授・博士 (政治学)
研究交流会主催： 柴田 晃 立命館大学・チェアプロフェッサー・博士 (政策科学)
シンポジウム・コンビーナ： 鐘ヶ江秀彦 立命館大学・教授・博士 (工学)
アクセス：立命館大学大阪いばらきキャンパス・B棟 (立命館いばらきフューチャープラザ)
新大阪駅・伊丹空港から JR 茨木駅下車徒歩 5 分、阪急・大阪モノレール南茨木駅下車徒歩 15 分

<http://www.ritsumei.ac.jp/rs/r2020/campus/oic/access/map.html/>

シンポジウム概要

広瀬幸雄教授（関西大学社会安全学部）による基調講演概要：

「EUにおける環境関連計画での参加と合意形成の動向」

はじめに、わが国で現在問題になっている環境関連計画での参加と合意形成の事例としては福島原発事故後の原発関連事業がある。たとえば、国レベルでのエネルギー計画での原発の位置づけについては、民主党政権時に討論型世論調査という市民参加型会議で民意を探る試みがおこなわれた。また、地域レベルでは、福島原発事故の放射性物質で汚染された指定廃棄物の立地計画があり、その決定プロセスでもステークホルダーとしての市町村長の参加と専門家による情報提供と協働による熟議型の会議が試みられている。いずれの事例も、EUなどで開発された市民参加による合意形成のための参加型会議を参考にしている。

そこで、EUにおいて開発された参加型会議の3つのタイプを紹介し、そのなかで利害関係者・市民・専門家の協働によるハイブリッド型会議が行われたカールスルーエの交通計画の事例を紹介する。さらに、その市民を対象にした社会調査をもとに、環境と開発など多様な価値をめぐり対立の激しい計画の是非について熟議と参加に基づく会議によって計画へのコンセンサスが得られるのかについて考える。

<参考文献・既刊行物一覧>

- 1) 広瀬幸雄（編）、「リスクガバナンスの社会心理学」,ナカニシヤ出版, 2014
カールスルーエなどの交通計画や高レベル放射性廃棄物処分の事例などを紹介している。
カールスルーエの事例についての刊行物と参考文献：
- 2) Hirose, Y. (2007). A normative and empirical research on procedural justice of citizen participation in environmental management planning. Ohbuchi, K. (eds.) Social Justice in Japan: Concepts, Theories and Paradigms. Melbourne: Trans Pacific Press, 264-290.
- 3) 広瀬幸雄(2008) 環境計画への市民参加はなぜ必要なのか 広瀬幸雄(編) 環境行動の社会心理学 第10章 104-113 北大路書房
討論型世論調査についての刊行物と参考文献：
- 4) 前田洋枝・大沼進(2013) エネルギー戦略についての討論型世論調査についての国民の評価と社会的受容についての社会調査 広瀬幸雄(編) 「ゲーミングを用いた市民参加型会議による環境計画策定の合意形成と社会的受容に関する研究」 科学技術融合振興財団委託研究研究成果報告書 第4章 41-70
指定廃棄物についての決定プロセスについての参考文献：
- 5) 環境省放射性物質汚染廃棄物処理情報サイト・指定廃棄物処理有識者会議資料
shiteihaiki.env.go.jp/initiatives_other/conference/ (2015.4.13 確認)
- 6) 宮城県指定廃棄物の最終処分場等に係わる市町村長会議の会議資料 (H24.10.24)
<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/junkan/sitei-kaigi.html>(2015.4.13 確認)
- 7) 第4回宮城県指定廃棄物処理促進市町村長会議 配布資料
宮城県における指定廃棄物の処分場候補地の選定手法・提示方法等についての参考文献
http://shiteihaiki.env.go.jp/initiatives_other/miyagi/conference_miyagi_04.html (2015.4.13 確認)

セミナー：

沖森泰行博士（日本バイオ炭普及会理事・株式会社環境総合テクノス）セミナー概要：
「東南アジアにおけるバイオマスの活用とバイオチャー」

パネルディスカッション概要：

それぞれの学協会からの若手博士のホープの参画により、「コンセンサス形成のための地域の相互学習と Future Earth」へ向けた、多様で多面的な議論を言いたい放題議論する。

- 0) 座長による自己紹介と趣旨説明、各パネリスト自己紹介 (15:10-15:20)
- 1) 話題提供：3名のパネリストから、10分前後で、テーマに沿った最近の研究や、研究分野、学協会の動向の話題提供のプレゼンを行う。(15:20-15:50)
- 2) 1巡目：話題提供に関する相互の質問の後、テーマに関する議論を行う。(～16:40)
- 3) 2巡目：これからの研究の動向や学協会の未来と期待について一言、意見交換を行う。(～17:00)

研究交流会：研究所と三学協会合同で、クルベジを試食しつつ産学連携ラウンジにて異分野研究の交流を行う。